

御来屋駅舎を観光資源に

町長 周知・集客に努める



米本 隆記 議員

町長

【米本】 境港―御来屋間は明治35年に開通した。終着駅だった御来屋駅は開通当時の面影を残す山陰地方では最古の駅舎である。

平成28年11月には登録有形文化財に指定された。本町には伝統的建造物保存地区のほか歴史的に有名な史跡がたくさんある。

そのような観光資源に組み込めないものか。

【町長】 駅の安全で円滑な利用を確保しつつ、観光資源として歴史的な価値を保持すること



山陰最古の駅舎

が重要と考えている。

案内看板の設置や関係団体などと協議しながら周知・集客に努めたい。

【教育長】 地域の歴史を物語る重要な資源である。

鉄道ファンなどを巻き込んだイベントなど、さまざまな活用がはかれることを期待したい。

【米本】 地域自主組織などが活用を考えたかどうか。

【町長】 特徴を生かした取り組みには支援・協力をしていく。

ボランティアの認識は

町長

個人の自発的意思による活動である

【米本】 ボランティアとは、強制されたり義務としてではなく、個人の自由意思で行うものだと考える。

本町にもボランティアで支えあっているものがたくさんあるように思うが、町長はどう考えるか。

また、学校教育では何を教えているのか。

【町長】 社会全般や地域などにおける問題解決のために必要な活動で、個人の自発的意思によって行う活動である。

【教育長】 ともに助け合って生きることの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う学びを進めている。

【米本】 職員による小地域懇談会や交通安全

期間の立ち番はどうなっているのか。

【町長】 小地域懇談会は年々職員の参加率が下がってきている。職務命令で時間外になら

ないよう特例承認で対応している。

立ち番も同じく職務命令にして全員に出してもらう。



ボランティアとは